学校通信
和の光
令和７年（２０２５年）２月号②
宝塚市立西谷中学校

省略

■進路について考えよう～小論文対策Ⅵ～

小論文の頻出テーマを下記に示しますので、参考にしてください。また、キーワードになる言葉の例をあげておきますので、そのことについて調べておくと、小論文作成時の知識として役立つと思います。

１.「地球環境」に関する課題

【キーワード】

食品ロス・自然災害・原子力発電・ゴミ処理問題・リサイクル・地球温暖化・自然保護
マイクロプラスチックなど

出題内容	字数
廃棄物（食品ロス・レジ袋）についての資料（ホームページや広告）などが訴えている内容と表現の工夫を、体験や見聞きしたことを含めて書く。	200～240 字
食品ロスについての話し合いの資料を読み、自分が社会をより良くするために心掛けたいことを自分の体験を含めて書く。	141～240 字
環境に配慮する消費者「グリーンコンシューマー」についての資料を基に、体験や今後消費者としてどのようにありたいかを書く。	200～240 字

２.「社会や文化」に関する課題

【キーワード】

グローバル化・少子高齢化・ボランティア活動・情報化社会・地方創生・ヤングケアラー・
子ども食堂・VUCA（先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態）

出題内容	字数
「世の中が便利になること」について、第一段落で自分が便利だと思うものを具体例にあげて、第二段落は世の中が便利になることについての考えを書く。	240～300 字
社会情勢について信頼できる情報を得るにはどのメディアを利用すると良いと思うか、またその理由を具体例やグラフの結果に基づいて書く。	121～180 字
「ボランティア活動」に関するグラフを見て、第一段落にはグラフから読み取った内容を、第二段落には自分の体験を踏まえた考えを書く。	165～195 字

３.「言葉の使い方・読書」に関する課題

心に残る本・好きな言葉・読書・SNS に関わるトラブル・若者言葉など

出題内容	字数
「どんな時に日本語の乱れを感じるのか」について、中学生３人の意見から注目したものを一つ選び、それに対する考えと理由を書く。	160～200 字
文字で情報を伝える際に気を付ける点について、資料の内容を使って、誤解を生まないようにするためにはどうするかも含めて具体的に書く。	80～100 字
「若者言葉」についての議論を読んでそれに続けるかたちで、体験や具体例を交えて意見を書く。	150～250 字

＜小論文を書いてみよう＞

【問題１】近年家族の世話や介護に追われている中学生や高校生「ヤングケアラー」が増えています。次の資料は厚生労働省と文部科学省が 2020 年 12 月から 2021 年 1 月にかけて行った実態調査をまとめたものです。この調査結果を踏まえてあなたの考えを書きなさい。

（条件）①400 字以内で書くこと。
②**少子高齢化**という言葉をおりこんで書くこと。
③「はじめに」「考えの主張」「結論」の三段落構成にすること。

■厚生労働省と文部科学省の合同調査結果より
（対象は中学2年生、高校2年生　約1.3万人）

	中学生	高校生
世話をしている家族がいる	5.7% （約17人に1人）	4.1% （約24人に1人）
世話にかける時間	４時間	3.8時間
世話の内訳	・食事の準備・洗濯 ・きょうだいの保育園送迎 ・祖父母の介護・見守り	
世話のためやりたくても できないこと（複数回答）	・自分の時間がとれない20.1% ・宿題や勉強の時間がとれない16% ・睡眠時間が十分にとれない8.5% ・友人と遊べない8.5%	
進路変更を考えざるをえないか、進路を変更したい	4.1%	
学校に行きたくても行けない	1.6%	

【解答例】

省略

【問題２】スマートフォンを通じてＳＮＳで大人と知り合った中学生が、大人に誘われて遠く離れた地方にまで連れていかれ、中学生の家族が捜索願を出し、数日後に警察によって無事に保護されたという事件がありました。今や小学生から大人まで、スマートフォンを日常的に使うようになっています。便利な反面、このような事件が起きる危険性があります。
あなたは、スマートフォンの普及に賛成ですか。それとも反対ですか。次の条件にしたがってあなたの考えを書きなさい。

（条件）①**賛成・反対を明確に**して書くこと。
②二段落構成とすること。
③200 字以内で書くこと。

【解答例】

省略

■私立高等学校の入試がはじまります～全員で合格を勝ち取ろう！！～

２月１０日・１１日に私立高等学校の入試が行われます。また、その後２月１７日・１８日には公立高等学校の推薦・特色選抜が実施されます。

入試が近づくにつれて、誰もが多少は不安になることと思いますが、これから入試までの間にぜひ下記の点に気を付けて入試に臨んで欲しいと思います。

①「夜型の生活から朝型の生活に切り替える（体調を整える）」
脳がしっかりと働くまでには起床後２～３時間はかかります。また、当日寝坊しては取り返しがつかなくなります。朝６時頃には起床するようにしていこう。

②「新聞やテレビのニュースに目を向ける」
面接や小論文に使えるネタ（キーワード）は日々の生活でたくさんあります。たとえ１０分でもその日のニュースに目を向けましょう。

③「各教科の苦手分野に絞り込んで学習する」
今から焦ってあれこれ手をつけるのではなく、自分の苦手な分野・内容を中心に復習を行い、少しでも克服できるようにしましょう。

④「入試当日の持ち物は早めに確認・準備しておく」
受験票・筆記用具は当然ですが、直定規・コンパスなども必要か入試要項で必ず確認してください。また、腕時計（計算機能付きなどはＮＧ）も忘れないように。（必要な物と持ち込んではいけない物についても確認してください。）

⑤「頑張ってきた自分を信じること」
今まで、精一杯頑張った成果を発揮する日が来ました。自分の頑張りを褒めましょう！！そして、あなただけではなく、西谷中の１９名の仲間も共に頑張っているのです。自信を持って試験に臨んでください。１９名全員が希望の進路を勝ち取れるよう、先生方とともに応援しています！！